

J R 肥薩線復興アクションプラン 第2期中期計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉・球磨地域の観光拠点となる人吉市街地では、青井阿蘇神社の参道整備、球磨川沿いの川床整備、中川原公園の整備等を一体的に推進し、「歩いて楽しめるまち」が形成されている
- 球磨村では、球磨川・鍾乳洞・温泉・棚田等の観光資源を活かした「エメラルドロード」沿いの観光コンテンツが整備されている
- 球磨川の支流である川辺川沿いでは、水辺のキャンプ施設、川遊び施設、森林体験施設等が一体的に整備されている
- 球磨川第一橋梁付近を候補地として、「肥薩線ビュースポット」を整備し、球磨川の自然を背景に列車が走行する姿が地域の代表的な観光コンテンツに発展している
- 球磨川流域に点在する自然観光施設や文化施設等の一体的なPRが行われている

◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 「人吉市まちなかランドデザイン推進アクションプラン」に基づき、観光施設・景観の整備を推進するとともに、整備が進んだ施設・景観を活かした賑わい創出の施策が推進されている。
- 「球磨村観光振興計画」に基づき、球磨村特有の観光資源を活かした観光コンテンツやJR肥薩線・くま川鉄道とも連携した観光コンテンツの造成が推進されている。
- その他、各市町村が策定している計画等に基づき、交流拠点施設や遊水地等の利活用施設の整備が推進されている。
- 肥薩線ビュースポットの整備内容の詳細化を行い、ビュースポット整備の着手ができています。

◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
各市町村における観光施設・景観の整備	☆市町村、地域事業者等	● 各市町村の計画に沿って施設・景観整備を実施 ● 整備ができた施設・景観を活かした賑わい創出等の施策を実施 ※ 各市町村における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正		
市町村横断での取組事項の整理・実行	☆県、市町村、DMO等	● 各市町村の観光施設・景観を活かした広域での連携事項や連携方法の精査 ● （連携事項や方法がまとまり次第）連携した取組みの推進 ※ 各市町村における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正		
肥薩線ビュースポットの基本設計・整備	☆県、JR	● 整備内容の詳細化	● 整備内容の詳細化・深度化 ● （整備内容が整い次第）整備着手 ※今後調整	

2 観光の拠点としての人吉駅周辺整備

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉駅舎および駅周辺での飲食・商業・学習施設や宿泊施設等の整備を進め、地域の観光・生活・交流拠点に発展している
- 人吉駅前に展示中のSL人吉は、九州唯一の動態保存を実施した上で、博物館の建設や体験乗車の提供等も行い、既設の「人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868」と連携した一大観光コンテンツに発展している
- こうした取組を通して、地域を訪れる観光客が人吉駅周辺を目的地とし、さらに交通手段として肥薩線の選択にもつながっている



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 人吉駅周辺整備について整備内容が整理され、市計画にも反映されているとともに、具体的な整備が推進されている。
- 肥薩線の復旧前から人吉駅が観光拠点として選ばれるよう、SL人吉の動態展示を活かしたイベント等が実施されている。



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
市計画への反映、詳細計画策定 （駅周辺整備）	☆市町村	● 駅周辺整備内容の深度化 ● 関連計画への反映	● 駅周辺整備内容の深度化 ● （整い次第）駅周辺整備着手	※ 市における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正
SL人吉動態保存展示	☆市町村	● SL人吉を活用したイベント等の実施	※ 市町村における施策の進捗に基づき、都度見直し・修正	

6 地域を代表する観光列車の導入

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 被災前のSL人吉に相当する地域を代表する観光列車として、「球磨川の雄大な自然を堪能」、「地域の魅力との出会い」をテーマとした観光列車を新規に導入し、土休日を中心に1日1往復程度走行している
- 当該列車は、くま川鉄道や肥薩おれんじ鉄道で走行する機会も設け、県南地域一体となった観光振興に活用している
- 被災前の「かわせみ やませみ」、「いさぶろうしんぺい」に相当する観光列車が、人吉～八代～熊本間で1日数往復程度引き続き走行し、観光利用にも日常利用にも活用できる速達列車として利用されている



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 新観光列車に係る製造費用、デザイン等が整理された上で、車両の詳細設計が実施されており、車両の製造工事を発注する準備ができている
- 新観光列車のコンセプトに基づいたおもてなしや車内サービスの検討が進んでいる



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
新観光列車の詳細設計	☆JR、県	● 車両導入に向けた課題の抽出 ● 車両デザインの検討	● 車両デザインの詳細化	● 車両設計に着手 ● 車両製造の準備
列車内や駅で提供するサービス・おもてなしの詳細化	☆県、市町村、JR	● コンセプトを基に沿線自治体と意見交換 ● 他の観光列車の事例研究 ● 肥薩線の新観光列車におけるサービス検討		